

(特非) 水俣フォーラム

水俣病 60 年記念事業のうちの水俣病図書 目録と水俣展図録の作成

活動に対する 問合せ件数	15 件
水俣病関係の個人・ 団体への協力依頼件数	52 件
活動の全体目標 に対する達成度	30%



水俣病図書目録の基礎資料となる印刷物

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 調査や協力依頼を行う中で、本活動が、学校教育・社会教育において、水俣病が取り上げられる機会につながり、環境意識の深化につながるという共感を得られた。
- 工夫** 水俣や熊本などの水俣病関係者には、ていねいな協力依頼を心がけ、一般市民への公表は広くシンプルに行った。

課 題

深刻な犠牲を出し、長い歳月を費やしても終わりが見えず、多くの記録を残した水俣病について、一般の人々が触れる機会を用意する。

活動内容

13万7,427人の入場者を得てきた「水俣展」は、「水俣病60年事業」の一つとして全面リニューアルするが、この作業と並行して、全展示物を収載した図録を初めて制作・発行する。この図録は、常に要望が多い「1冊で水俣病のすべてがわかる本」にもっとも近いものとなる。また、水俣病に関する資料のうち、最もニーズが高い「図書」の総目録が存在していないことから、水俣病図書目録を作成する。



水俣展図録についての会議

今後の課題

- ・水俣展図録を28年度に作成する。展示物リストを含むA3～A4判、300～1,000頁、1～5分冊。
- ・水俣病図書目録は、29年度に印刷・発行するための調査及び原稿化を進める。